

教育活動アンケート 自由意見についての回答

教育活動アンケートへのご協力をありがとうございました。多くのご意見から、生徒、保護者の皆さんの南大谷中学校に対する関心の高さ、期待の大きさを感じます。頂戴したご意見をふまえ、さらにより良い学校づくりを進めるための話し合いを教職員間で進め、実践できるよう努めてまいります

全ての質問意見にお答えすることはできませんが、ここでは頂戴した自由意見に対する各分掌担当からの回答を掲載させていただきます。

◇「全体」に関するご意見

「中学生は難しい年頃で色々なトラブルやネガティブな気持ちを持ちながら過ごすのだろうと想像して入学しましたが、3年間毎日楽しんで登校しています。友人、先生方、どちらにも恵まれたようで自宅に帰ってくると、とても良い表情でその日の出来事を報告してくれます。学校が楽しくて仕方がないといった様子です。人間関係、環境に感謝しております」（保護者）「小学校から進級してみると、自分達で考えて決める、ということが格段に増えたなと感じています。自立にとって、とても、大事なことを学ばせてもらっていると思います」（保護者）「いつもありがとうございます。子どもたちが主体的に動けるような教育活動を実施してくれていると思います。親への情報がなかなか伝わらないので、お知らせやホームページでの発信は助かります。サポートルーム便りはいつも勉強になります。」（保護者）「地域の人や、近くの小学校と関わっているとは思えなかったので、しているならもう少し表向きに活動すべきだと思う、ゴミ拾いの活動などは時々しているが、ゴミ拾い中の想像ができないというか、どのように活動しているかのイメージがわかりません。ですが地域との交流はコロナ下なので難しいとも思っています。勉強環境や生活のしやすさにはとても満足しています。」（生徒）など、学校生活への満足度の高さ、情報発信のこと、地域との交流についてまで、多岐にわたるご意見をいただきました。

《回答》

○「コロナ禍での教育活動ありがとうございます。今年度は体育祭や公開授業等、コロナ前のように子供達の様子を見られる事をととても嬉しく思います。今後も続けて学校公開していただき、子供達と関わっていけたらと思います。」（保護者）とのご意見をいただきました。学校公開へのご参加ありがとうございます。来年度も行事を含めて各学期1～2回の公開を予定しておりますので是非ご参観ください。

○「家庭で準備するものや行事内容(日程など)のお知らせが遅いと思います。こちらから声を掛けないと、子供から直接情報が来ることが難しいため、配信メールの更なる活用をお願いします。合唱祭のお知らせが遅く、バスや駅の利用について子供に教える余裕がなく困りました。」（保護者）とのご意見をいただきました。通知の発信については極力早期に行うよう心がけると共に、生徒からの伝わりづらさもあるということもあって、一斉メールによる追加連絡も積極的に活用するようにしております。いただいたご意見をふまえ、さらにご不便のないような情報発信のあり方について検討を重ねてまいります。

○「パソコンの利用率が低いような気がします。無理に使う必要もないですが、せっかくあるので利用する機会を増やしていただければと思いました。」（保護者）「小学校ではICTをかなり使って学習していたのですが、その機会がだいぶ少なくなってしまって残念そうです。せっかく身についたスキルをもう少し授業などに活かすことはできないのでしょうか。ご検討いただけるとありがたいです。」（保護者）とのご意見をいただきました。本校でもクロムブックを用いた授業の研修やNavimaの活用についての検討を定期的に行っています。その中で生徒たちにどのような力を身につけさせたいか？という部分で、クロムブックやNavimaを使用する機会を設定しているところです。利用拡大に向けて様々な方法を考えておりますが、教科、教員、授業によって何が大切かを生徒たちに伝える方法は様々なあるということもご理解いただけたらと思います

◇「学習」に関するご意見

「普段あまり本を読む機会がなかったので、朝読書などの活動があって読む機会が増えてよかった。」

(生徒)「わかりやすく授業をしてくれる。」(生徒)「教師の授業の質が高いが、教師同士の連携を積極的に取り合えば授業が円滑に進むと思われる。」(生徒)「教科によって先生が分かりづらいと困っている事が多々あります。」(保護者)「いつもお世話になっております。授業をちゃんと聞いて勉強したい子どもたちの気持ちを大事にさせていただけると幸いです。よろしく申し上げます。」(保護者)

「放課後、英語・算数教室が開かれる時があり、積極的に参加したい様子です。人数に限りがあるよう参加できるか不明…という時もあります。テスト前、英語教室に参加できたことがテスト勉強のやる気に繋がっていて、続けて参加していきたい様子でした。」(保護者)など、学習活動に対する充実感や授業内容に対する感想、放課後学習教室についてまで、幅広いご意見をいただきました。

《回答》

○「成績評価について開示をしていただきたいです。」(保護者) とのご意見をいただきました。成績について疑問・質問があれば、教科担当より回答いたします。評価評定は生徒一人一人の学習について適切に判断しております。評価材料は日々の授業での課題(ワークシート)や単元テスト(小テスト)、実技試験、レポート、定期試験などがあります。評価については年度当初に説明をしておりますが、さらに説明の機会の設定や内容などを検討し、次年度に活かしていきたいと思っております。

○「塾に行っていないので、まず復習の習慣だけでもつけたいと思うのですが、宿題を出して頂く事は難しいでしょうか？ 期末の結果を受け、教科書、ノートをせめて1日1教科だけでも持ち帰るよう話し合ったところです。→先生方の負担が増えない程度で、これだけ網羅しておけばOKのような参考書や、やりたい子だけ持ち帰ってOKなどのプリントなど…何から始めれば良いか教えて頂けるとありがたいです。勉強をするようにさせる事が、まず難しく家庭では行き詰まっております。」(保護者) とのご意見をいただきました。現在、学校の取り組みとして自宅学習ノート(1ページノート)を行っています。その日の授業で習ったことを、まとめてみるのはどうでしょうか。また、教科によってはワークを購入させていただいております。少しずつ進めていくことで、試験勉強にもつながります。同じ問題を繰り返し解くことで、理解も深まります。放課後学習教室(SW)も実施しておりますので、ご検討ください。

○「今、学校に行けない状況でも、家で出来る勉強方法を検討して欲しいです。ナビマをやったら学校の成績に付けられる、オンライン授業など学校と繋がって戻りやすいように考えて欲しいです。」(保護者) とのご意見をいただきました。ナビマの取り組みについては、教科によって扱いが違うところがありますので、今後検討していきたいと思っております。学校に登校できていない生徒へのオンライン配信は個々の状態に合わせて実施していますが、まず登校に向けて機運を高めていくことを目的としています。オンラインによる学習活動の成績評価については、本校だけの問題ではありませんので、他校の動向等もふまえて検討していくことになるものと考えます。

○「欠席時の授業内容を先生に聞きに行ったところ「友達に聞いて」と言われたそうで、それ以降は休んでも先生に聞きに行かなくなったようです。」(保護者) とのご意見をいただきました。生徒には丁寧に対応するよう全教員が心がけています。その時々教員の状況に応じて、対応が思うようにできないこともあったり、内容によっては生徒間による教え合いで解決できたりする事もあるでしょう。生徒が質問したいことがある時は、教員に率直に質問できる関係性を大切にしたいと考えます。

◇「生活」に関するご意見

「委員会や係で朝や放課後に活動がある時、家を出るまでは多少ブツブツ言っていますが帰宅後は晴れ晴れしているので、活動内容が充実しているのだなと嬉しく見守っています。」(保護者)「積極的に挨拶をしてくださる生徒さんが多い印象です。とても気持ちが良いです。」(保護者)「受験を控えて少し苛立っている子供たちもいるようで、大きな目立ついじめはなくても、雰囲気微妙だったり、SNSを使ったり、そ

んなことはあるように思えます。反抗期に入った様で、ここ最近特に勉強する事への反発があります。」
（保護者）「部活がある日は体を動かし、体力と時間を使い発散できる様ですが、無い日は遊びに出かけるようになりました。最近ゲームセンターに遊びに行きたいと言い、認めずにいますが、それに対しても反発してくるので、どうして良いものか…と悩みます。」「いつもお世話になっています。子どもの話からは、先生とのよい関係が築けていると感じます（授業や部活での先生の話がよく出るの）。今の一年生は雰囲気もよいようなので、これを3年間継続していただきたいです。家庭でも子どもの話をよく聞いて丁寧に関わっていこうと思います。今後ともよろしく願いいたします。」（保護者）

「南大谷中は生徒会の活動が活発だということが良い点だと思います。あいさつに対する取り組みが多く行われているため、学校が豊かに感じられます。増やしていきたいのは、他学年との交流です。体育祭や合唱祭、部活動などで関わることはありますが、まだ少し学年の間に壁を感じます。先輩や後輩ともっと気軽に関われる機会があると嬉しいです。」（生徒）など、生徒の学校生活の印象、日常の過ごし方について、ご家庭、生徒の皆さんが感じになられていることについてご意見をいただきました。

《回答》

- 「校則の見直しを積極的に取り組んでもらえたら嬉しいです。」（生徒）
「冬にダウンコートなどだと寒いので、着ていい衣類の種類を少し増やしてほしいです。」（生徒）
「制服など寛容になりよかったです。さらなるジェンダーレスに向けて、委員会などの男女の定員をなくしてほしいと本人が言っていました。分ける必要がないものについての再考をお願いします。」（保護者）などのご意見をいただきました。社会や学校の現状や生徒の実態に合わせて対応していけるよう、課題はありますが、教職員間、また生徒とも課題を共有し校則の見直しに向けて協議を重ねているところです。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。
- 「この年齢になると親の言うことだけでは納得できなくなったり、実体験がなかったりや指導の仕方を学んでいないため、家庭だけで安全教育をで行うことは非常に難しいです。子どもの心に響くようご指導いただいていることに感謝しております。」（保護者）とのご意見をいただきました。月1回の安全指導や教科の指導などを通して、安全教育を進めています。ご家庭と学校で情報を共有し、一貫した指導を継続することが、生徒の安全に繋がると考えています。今後ともご協力をお願い致します。
- 「担任の先生より、相談室の利用を案内されて利用したそうです。はじめ抵抗があったようですが、とても安心できたようで、これから何かあったら気軽に利用できそうとのこと。学校にも相談できる場所があるのはとても良いと感じました。」（保護者）「いつも楽しみに学校に通ってくれているので親としては安心して送り出せています。学校全体でいい雰囲気作りの輪が広がり1人でも多くの生徒が同じ気持ちで毎日登校してくれたらもっと嬉しいと思います。」（保護者）などのご意見をいただきました。学校に通いづらい生徒や苦手な活動には対応しづらい生徒に対する働きかけ、支援の手立てについて考えてほしいという内容のご意見もいただいております。配布物の届け方など不登校・登校しぶりの状況にある生徒に対するマニュアルの作成等については、今後検討を進めてまいります。また、個別の支援や配慮が必要な生徒たちに対する手立てについては、スクールカウンセラーによる相談の聞き取り、特別支援校内委員会における検討やサポートルームとの連携を通じて、ご家庭や生徒本人、教員に対して提案していく手順を踏めるようになっていきます。お子さまのことで気になることがあれば、担任等を通じて遠慮なく学校へご相談ください。

◇「その他」に関するご意見

「コロナ禍でいろいろと対策が必要だったりする中、生徒達の体験に主眼点を置いていただき、何とか工夫を凝らして行事等を実施してくださっているのでもと有り難いです。かけがえのない時期に仲間との様々な体験を通じて感じたことやその思い出は、子供達にとってとても大切な財産になるでしょうし、異学年と一緒に活動する機会はどの学年にとっても大きなプラスになると思います。」（保護者）「修学旅行に

無事行けた事は、保護者として安堵しております。個別にシャワー対応して下さったり、面談して下さったりと保護者としても感謝しております。今度は家族で行ってみたいと言う程でした。彼女にとって乗り越えられた事は大きな成果です。まだまだ受験という大きな山が待っています。先生が丁寧に話をきいて進路指導して下さり、学校もきまりそうです。積極的ではないですが、頑張っって登校できました。あと少し、引き継ぎどうぞよろしくお願いいたします！」(保護者)「南大谷中卒業生のOB、OG会があったら良いなと思いました。(そうすることで地域との関わりが増えたり、卒業生が会を運営して部活や行事のサポートをすることで先生方の負担を減らしたり、生徒の知識、技能がより向上するかなと思いました。)先生方が生徒に寄り添っている雰囲気が大谷中の良い点だと思います。最近挨拶が増えてきたので私達が卒業した後も途切れないようにしてほしいです。(生徒)」など、行事開催のあり方、個別対応の成果のお知らせ、これからの本校に望むことなどについて意見をいただきました。

《回答》

- 「部活は顧問の先生が実質、一人しかおらず学校によって随分と違うのだなと思いました。外部コーチがいる学校とない学校の違いは何なのでしょう？強い学校は学校として予算があてられるのでしょうか？先生もお忙しいのですが、突然一週間以上お休みになってしまったり、また雨の日は室内トレーニングを見てももらえないことが多いそうでお休みになってしまったり、子どもたちのやる気もそれに左右されてしまうのはとても残念です。」(保護者)とのご意見をいただきました。部活動については、原則複数の教員が顧問を受け持ち、活動が円滑に実施できるように対応しています。部活動指導員、外部コーチも必要に応じて配置しているところですが、お務めいただく方の日程上のご都合や配当される予算の面で思うに任せないところもあります。コロナ禍や学校行事との兼ね合いから活動予定が立てづらいことも部活動の運営を難しくしている要因となっています。生徒たちが伸び伸びと自ら進んで活動に参加できることが部活動の本旨であると十分に承知しているところです。さまざまな課題に配慮しながら、生徒たちが達成感を味わえるような部活動ができる環境整備を行っていきます。
- 「南大谷中シエスタを実施するなど、生徒に一度休むことを許可するような企画はとても良いと思います。今はあまり使われておらず、雑草が茂っている大谷広場をきれいにシラスごとにそこでお弁当を食べても良いという制度などを新たに作って頂きたいです。」(生徒)とのご意見をいただきました。生徒のためになる取り組みを、教員側からの押し付けになることなく、生徒会や専門委員会の場で生徒と教員が提案し合いながら進めていくという風土が本校にはあります。学校の施設をどのように使っていくかというアイデアが生徒側から出てくるところも、生徒が本校のことを大切に思っていることの証であると感じます。こうした校風を維持できるよう、引き続き教職員と生徒が双方向のコミュニケーションをとれる雰囲気づくりに努めます。
- 「校外活動の班決めがくじになったそうですが、別のクラスは違っていたようです。そのことについて不公平だと言っていました。事情があるのかもしれませんが、出来ればそういったことは平等にしていただけると不公平感なく活動に取り組めるかと思います。」(保護者)とのご意見をいただきました。班の決め方がクラスによって異なったことについては、それぞれの事情があったと思います。しかし、全体へ納得のいく説明がなかったことが不公平という思いを強く抱かせてしまったと感じております。もちろん、教員一同どの生徒にも平等にという思いで動いておりますが、今後はこのような思いを抱かせないように、配慮してまいりますのでよろしくお願いいたします。
- 「学校の公開授業など、校内の案内などがあまり行き届いていないように思われる。現地で分かりやすい案内板を設置したり、事前のお知らせを詳細にしたりするなど、もう少し配慮が欲しい。」(保護者)とのご意見をいただきました。校舎の構造が分かりづらく、平面の見取り図でも表現しづらいところで、ご来校いただいた皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あるかと思っております。廊下や階段などに案内板を設置するなどの工夫や、行事当日には職員による案内、誘導を積極的に行なえるよう相互に声掛けしてまいりたいと思います。

○「校内がいつも綺麗にされていると思いました。ゴミなどが落ちているところを見たことがなく、先生と生徒みんなで清掃に取り組んでいるのだなと感じます。いつもありがとうございます。」(保護者)とのご意見をいただきました。1975年の開校から47年が経過していますが、丁寧に大切に校舎を扱うという伝統が本校に根付いているのだと思っています。本年度実施された市教委訪問では真っ先に「校舎をととてもきれいに使用している」との評価を、教育長をはじめ来校された教育委員会の皆さんからいただきました。秋には前庭の落ち葉拾いに保護者の皆さんにもご協力をいただき、学校の美化に一役かっただいております。こうした協働の下に校舎、施設の維持に今後も努めてまいりたいと思います。